

アスファルト混合物報告書

年 月 日

様

製造会社

所在地

鳥取市古海1008-2

工場名

鳥取アスコン株式会社

配合の設計条件				
混合物の種別	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
再生密粒度アスコン(20) 改質アスファルトII型	20(mm)	2.387(g/cm ³)	180(°C)	
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
3.9(%)	76.9(%)	9.65(kN)	32(1/100cm)	
D S 値				
5250(回/mm)				
使用材料および配合表				
使用材料名	産地名	生産者名	配合率(%)	備考
再生改質アスファルトII型	岡山県玉野市玉原	日進化成(株)	※ 5.6	
石粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	2.2	
砕石 5号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)	16.8	
砕石 6号			15.3	
砕石 7号			6.2	
砕砂			11.4	
粗砂	佐賀県唐津市	住若海運(株)	7.6	
細砂	鳥取市伏野	(有)仁徳砂利	6.4	
再生骨材		鳥取アスコン(株)	30.0	
再生用添加剤				
※再生アスファルト量の計算 旧As : 1.5(%) 再生改質As(CB [△] インダ [△] -K) : 4.1(%) 再生改質アスファルトI型配合率=1.5+4.1=5.6(%)				

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：再生密粒度アスコン（20）改質アスファルトⅡ型

2024年 2月

鳥取アスコン 株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
碎石5号	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
碎石6号	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
再生骨材	鳥取アスコン株式会社	鳥取県鳥取市古海	再生骨材
碎石7号	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕砂	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
粗砂	住若海運株式会社	佐賀県唐津市	天然砂
細砂	有限会社仁徳砂利	鳥取市伏野	天然砂
石粉	足立石灰工業株式会社	岡山県新見市足立	石灰岩粉末
CBバインダーK	日進化成株式会社	岡山県玉野市玉原	再生改質As

2. 使用骨材の配合割合

材料	碎石5号	碎石6号	再生骨材	碎石7号	砕砂	粗砂	細砂	石粉			計
配合割合%	17.8	16.2	30.2	6.6	12.1	8.0	6.8	2.3			100.0

3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600 μ m	300	150	75
通過質量百分率%				100.0	99.8	84.5		58.5	44.0		25.8	17.3	8.1	6.0
粒度範囲	上限			100	100	90		65	50		30	21	16	8
	下限			100	95	75		45	35		18	10	6	4

4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量 (%)	密度 (g/cm ³)	理論密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー (1/100cm)	残留安定度 (%)
試験値	5.6	2.387	2.483	3.9	76.9	9.65	32	90.2
基準値	上限	—	—	6	85	—	40	—
	下限	5.0	—	—	3	70	4.90以上	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

骨材試験成績表

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

ふるい分け試験

	ふるい目の開き	砕石5号	砕石6号	再生骨材	砕石7号	砕砂	粗砂	細砂	石粉
通過質量百分率%	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5	100.0							
	19	99.1	100.0						
	13.2	13.9	98.8	100.0	100.0		100.0		
	9.5								
	4.75		6.5	73.2	94.3	100.0	99.2		
	2.36			53.1	12.1	92.1	87.6	100.0	
	1.18								
	600 μm			32.4		37.5	31.5	98.9	
	300			22.3		20.4	12.2	70.4	100.0
	150			12.1		12.0	3.5	4.1	98.0
	75			9.1		8.8	1.0	1.1	88.2

性状試験

試験項目		砕石5号	砕石6号	再生骨材	砕石7号	砕砂	粗砂	細砂	石粉
密度	表乾	2.692	2.688	—	2.676	2.647	2.592	2.585	—
	かさ	2.675	2.669	—	2.651	2.602	2.556	2.535	—
	見掛	2.720	2.721	—	2.718	2.724	2.652	2.668	2.700
吸水率 / 水分量 %		0.62	0.71	—	0.93	1.72	1.43	1.96	0.01
すりへり減量 %		—	11.9	—	—	—	—	—	—
安定性 %		0.5	0.8	—	1.4	1.5	5.3	1.5	—
微粒分量試験 %		—	—	1.8	—	—	—	—	—
軟石含有量 %		0.4	0.6	—	—	—	—	—	—
扁平細長石片 %		1.1	1.0	—	—	—	—	—	—
単位容積質量		1.564	1.562	—	1.502	1.752	1.665	1.547	—
粘土塊量 %		0.02	0.03	—	—	—	—	—	—
最大密度		—	—	2.514	—	—	—	—	—
旧As含有量 %		—	—	4.96	—	—	—	—	—
旧As針入度		—	—	27	—	—	—	—	—

改質アスファルト性状表

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

<使用する改質アスファルトの性状>

種類・品名		C B バインダーK	
プラントミックス タイプの場合	使用アスファルトの種類	---	
	使用改質剤名	---	
	WETでの改質材添加率 (%)	---	
	DRYでの改質材添加率 (%)	---	
項目		試験値	規格値
針入度 (25℃)	(1/10mm)	60	40以上
軟化点	(℃)	88.0	50.0以上
伸度 (7℃)	(cm)	---	---
伸度 (15℃)	(cm)	100+	30以上
引火点	(℃)	352.0	---
薄膜加熱質量変化率	(%)	---	---
薄膜加熱針入度残留率	(%)	88.3	65.0以上
タフネス (25℃)	(N・m)	28.6	5.0以上
テナシティ (25℃)	(N・m)	19.0	2.5以上
密度 (15℃)	(g/cm ³)	1.028	---
マーシャル最適混合温度範囲	(℃)	170~185	---
マーシャル最適締固め温度範囲	(℃)	160~170	---

アスファルト針入度の調整

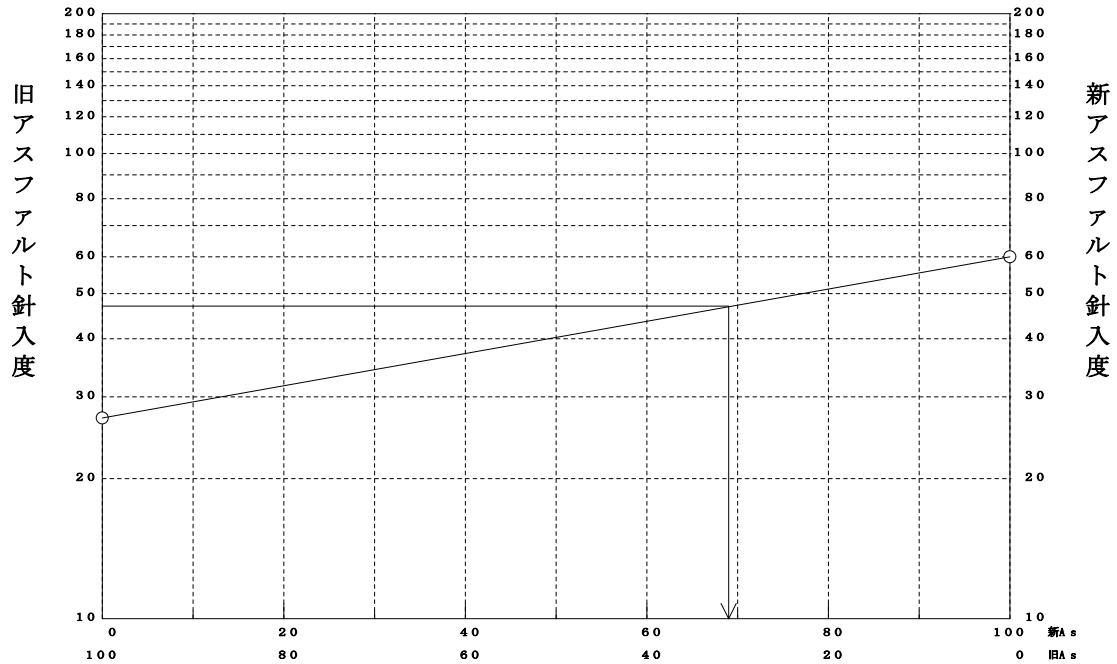
目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

新・旧アスファルト配合比率



調整針入度			
	新アスファルト	旧アスファルト	高針入度アスファルト
針入度 (1/10mm)	60	27	
配合比率 (%)	69.0	31.0	
調整針入度 (1/10mm)	47		

アスファルト混合物の配合設計

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2024年 2月14日

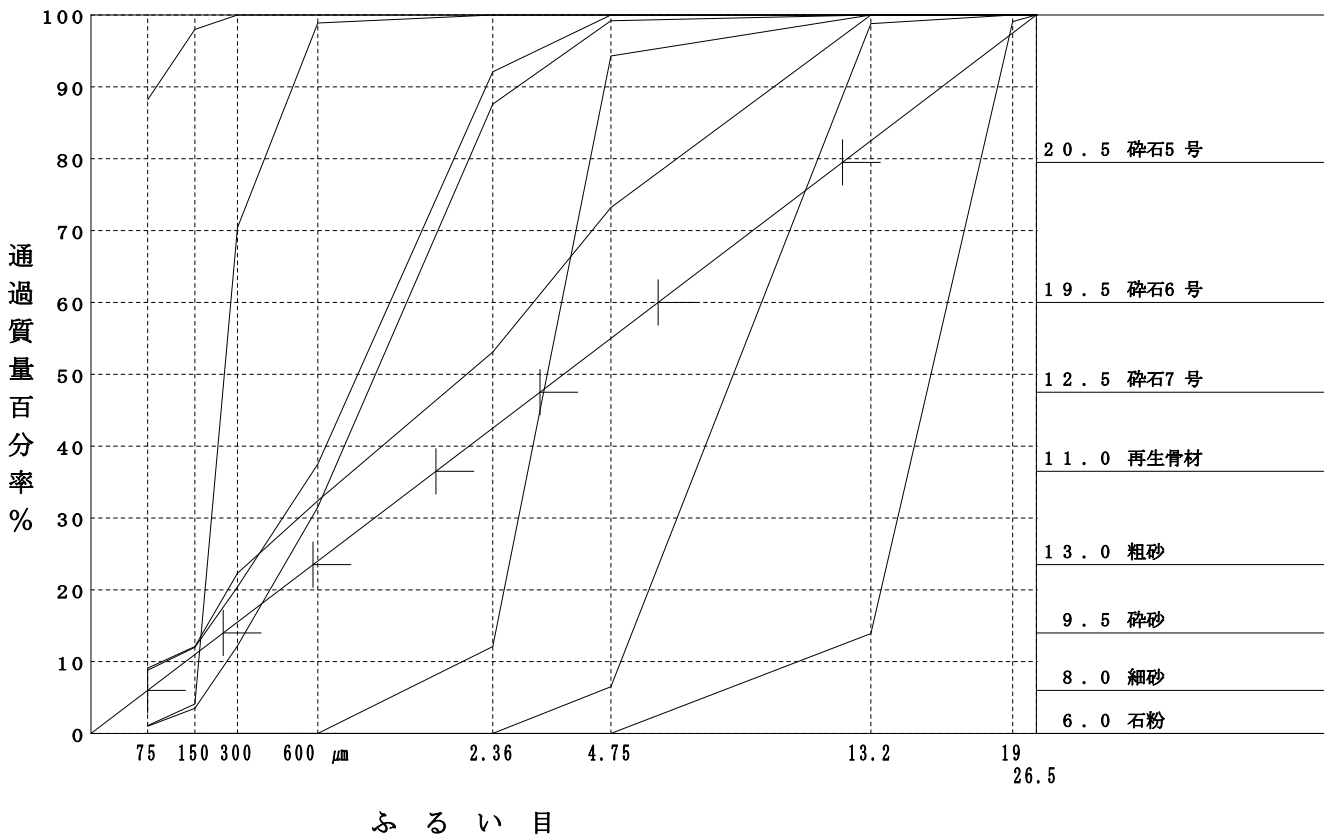
混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

1. 使用予定骨材のふるい分け試験結果

フルイ目	使用予定骨材の通過質量百分率 (%)								目標粒度
	砕石5号	砕石6号	再生骨材	砕石7号	砕砂	粗砂	細砂	石粉	
53 mm									
37.5									
31.5									
26.5	100.0								100.0
19	99.1	100.0							97.5
13.2	13.9	98.8	100.0	100.0		100.0			82.5
9.5									
4.75		6.5	73.2	94.3	100.0	99.2			55.0
2.36			53.1	12.1	92.1	87.6	100.0		42.5
1.18									
600 μm			32.4		37.5	31.5	98.9		24.0
300			22.3		20.4	12.2	70.4	100.0	15.5
150			12.1		12.0	3.5	4.1	98.0	11.0
75			9.1		8.8	1.0	1.1	88.2	6.0

2. 使用予定骨材の配合比決定図



骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

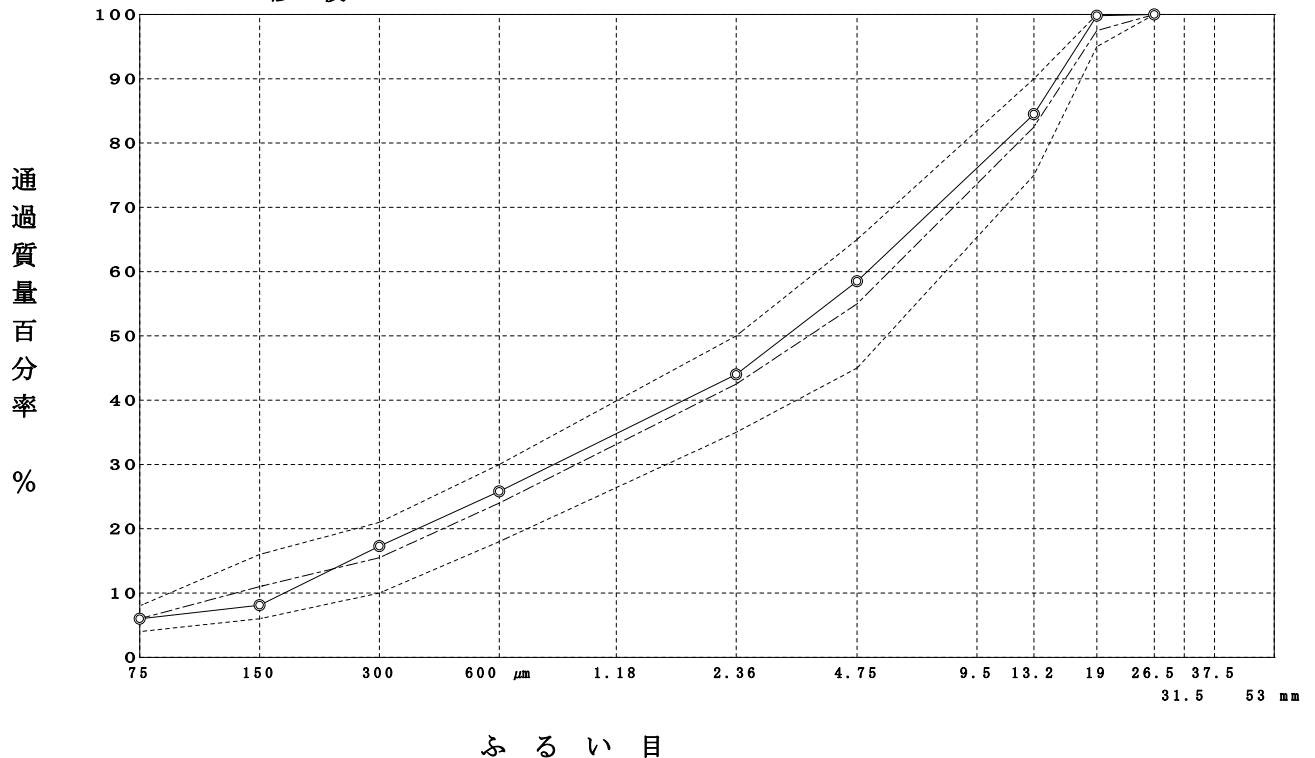
試験者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5	100.0	100.0	100.0	100
19	99.8	99.8	97.5	95 ~ 100
13.2	82.1	84.5	82.5	75 ~ 90
9.5				
4.75	57.6	58.5	55.0	45 ~ 65
2.36	41.4	44.0	42.5	35 ~ 50
1.18				
600 μm	25.2	25.8	24.0	18 ~ 30
300	17.6	17.3	15.5	10 ~ 21
150	9.1	8.1	11.0	6 ~ 16
75	7.3	6.0	6.0	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図

..... 粒度範囲
 - - - - - 目標粒度
 ———— 修正後



理論最大密度計算表

目的配合設計

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

骨材の種類	A 骨材のみ	B(旧アスファルト含む)						
碎石5号	17.8	17.80						
碎石6号	16.2	16.20						
再生骨材	30.2	31.78						
碎石7号	6.6	6.60						
碎砂	12.1	12.10						
粗砂	8.0	8.00						
細砂	6.8	6.80						
石粉	2.3	2.30						
計	100.0	101.58						
設計針入度 1/10mm		47						
旧アスファルト量 (外割%)		1.58						
新アスファルト量 (外割%)		4.35						
再生アスファルト量 (%)	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	5.6		
再生アスファルト量 (外割%)	5.26	5.82	6.38	6.95	7.53	5.93		
旧アスファルト量 (外割%)	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58		
新アスファルト量 (外割%)	3.68	4.24	4.80	5.37	5.95	4.35		
旧アスファルト/新アスファルト 比	30/70	27/73	25/75	23/77	21/79	27/73		

理論最大密度計算表

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

① 骨材の種類	② 配合率(%)	③ 骨材の密度 (g/cm ³)			④ 計算に用いる密度	⑤ ②/④
		表	乾	かさ 見掛		
碎石5号	17.80	2.692	2.675	2.720	2.720	6.544
碎石6号	16.20	2.688	2.669	2.721	2.721	5.954
再生骨材	31.78				2.514	12.641
碎石7号	6.60	2.676	2.651	2.718	2.718	2.428
碎砂	12.10	2.647	2.602	2.724	2.724	4.442
粗砂	8.00	2.592	2.556	2.652	2.652	3.017
細砂	6.80	2.585	2.535	2.668	2.668	2.549
石粉	2.30			2.700	2.700	0.852
Σ②=	101.58				Σ⑤=	38.427

⑥ アスファルト量 (%)	⑦ アスファルトの密度	⑧ ⑥/⑦	⑨ Σ⑤	⑩ ⑧+⑨	⑪ 理論最大密度 (Σ②+⑥)/⑩	
3.68	1.028	3.580	38.427	42.007	2.506	
4.24		4.125	38.427	42.552	2.487	
4.80		4.669	38.427	43.096	2.468	
5.37		5.224	38.427	43.651	2.450	
5.95		5.788	38.427	44.215	2.432	
4.35		4.232	38.427	42.659	2.483	

マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (室 内)

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生改質アスファルトII型 アスファルトの密度(A) 1.025 アスファルトの温度 180 °C 骨材の温度 220 °C
 突固め温度 165 °C 突固め回数 50 回 力計の係数(B) 0.1187

供試体条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	安定フロー値 (kN/m)	
		アスファルト量%	供試体寸法					空中質量(g)	水中質量(g)	表乾質量(g)	容積 (cm ³)	密度		アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度			フロー値 (kN)
			厚さ (cm)									かさ (g/cm ³)	理論 (g/cm ³)					読み	安定度		
			1	2	3	4	平均														
							⑨ - ⑧		⑦ / ⑩		⑬ × ⑭ / (A)		(1 - ⑭ / ⑮) × 100		⑬ + ⑭ / ⑯ × 100		(B) × ⑩				
標準	1	5.0						1217.1	707.6	1218.1	510.5	2.384							71	8.43	27
	2							1219.4	704.8	1220.6	515.8	2.364							77	9.14	30
	3							1218.0	705.6	1219.1	513.5	2.372							72	8.55	27
	平均												2.373	2.506	11.6	5.3	16.9	68.6		8.71	28
標準	4	5.5						1225.7	710.0	1226.3	516.3	2.374							81	9.61	30
	5							1225.2	712.3	1225.8	513.5	2.386							80	9.50	33
	6							1222.8	712.9	1223.5	510.6	2.395							81	9.61	30
	平均												2.385	2.487	12.8	4.1	16.9	75.7		9.57	31
標準	7	6.0						1231.7	718.4	1232.0	513.6	2.398							82	9.73	36
	8							1230.8	714.4	1231.1	516.7	2.382							79	9.38	34
	9							1229.9	715.0	1230.2	515.2	2.387							81	9.61	35
	平均												2.389	2.468	14.0	3.2	17.2	81.4		9.57	35
標準	10	6.5						1236.7	720.5	1236.9	516.4	2.395							69	8.19	40
	11							1236.4	718.7	1236.5	517.8	2.388							78	9.26	40
	12							1236.4	719.5	1236.6	517.1	2.391							72	8.55	39
	平均												2.391	2.450	15.2	2.4	17.6	86.4		8.67	40
標準	13	7.0						1240.4	722.4	1240.5	518.1	2.394							59	7.00	45
	14							1239.8	719.4	1239.9	520.5	2.382							52	6.17	48
	15							1242.3	719.1	1242.4	523.3	2.374							58	6.88	45
	平均												2.383	2.432	16.3	2.0	18.3	89.1		6.68	46

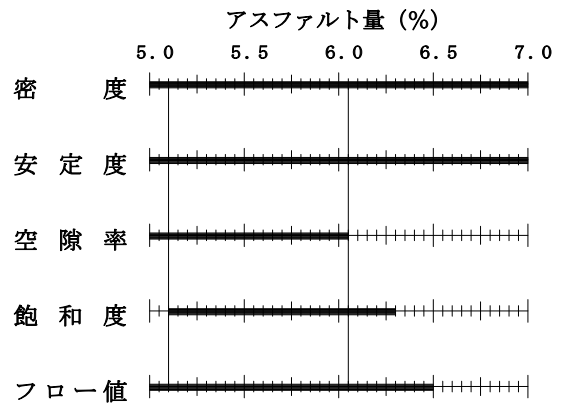
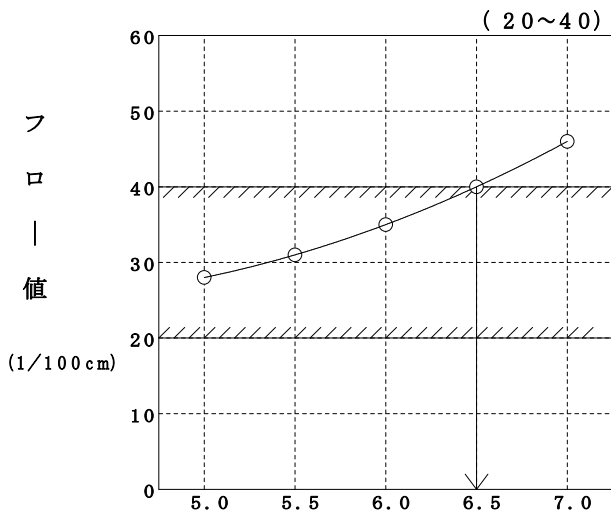
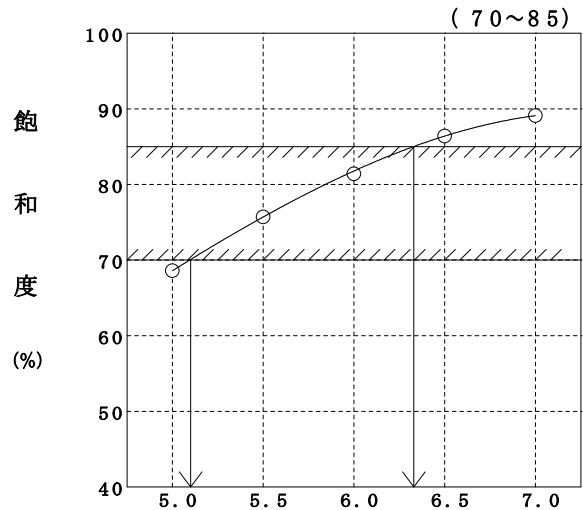
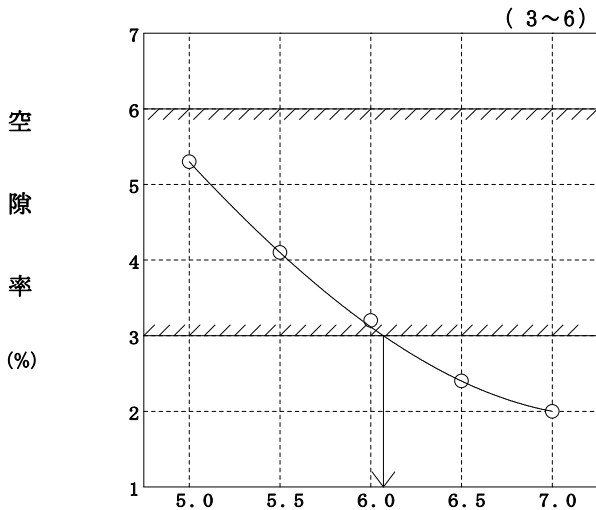
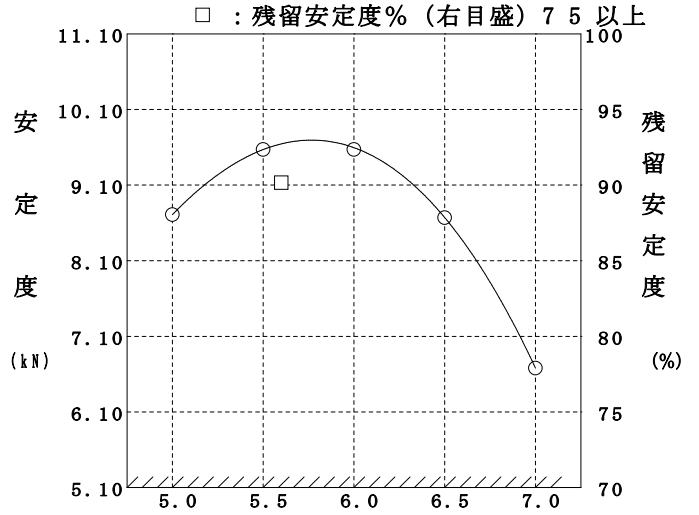
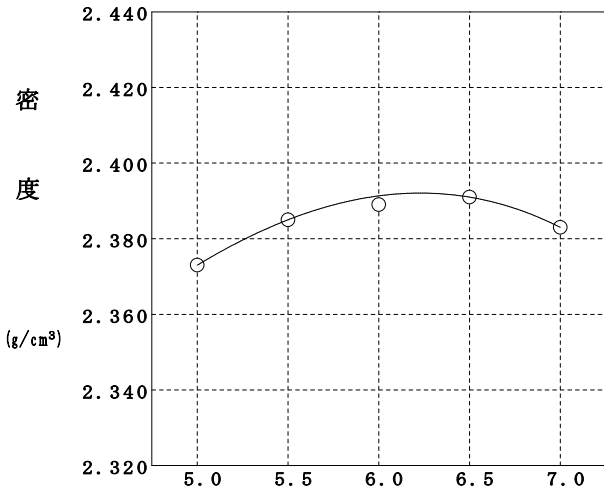
設計アスファルト量の決定

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫



共通範囲 5.10 ~ 6.05 (%)

設計アスファルト量 5.6 (%)

アスファルト量 (%)

ホットビンの合成粒度

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2024年 2月14日

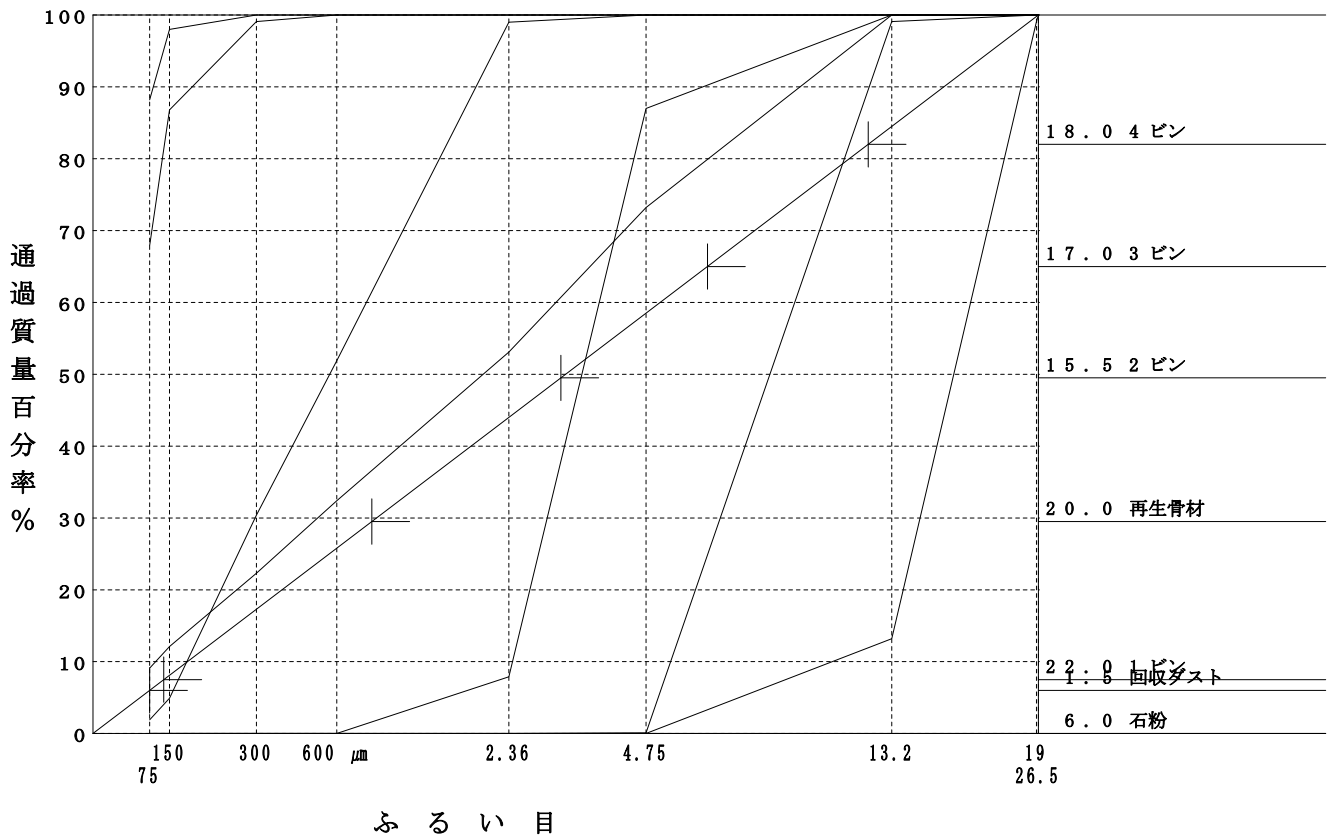
混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

1. 使用予定骨材のふるい分け試験結果

フルイ目	使用予定骨材の通過質量百分率 (%)							設計粒度
	1ピン	2ピン	3ピン	4ピン	再生骨材	回収ダスト	石粉	
53 mm								
37.5								
31.5								
26.5				100.0				100.0
19			100.0	99.1				99.8
13.2		100.0	99.1	13.2	100.0			84.5
9.5								
4.75	100.0	87.0	0.1		73.2			58.5
2.36	99.0	7.9			53.1			44.0
1.18								
600 μm	51.9				32.4	100.0		25.8
300	30.4				22.3	99.1	100.0	17.3
150	4.9				12.1	86.8	98.0	8.1
75	1.9				9.1	67.9	88.2	6.0

2. 使用予定骨材の配合比決定図



ホットビンの粒径加積曲線図

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

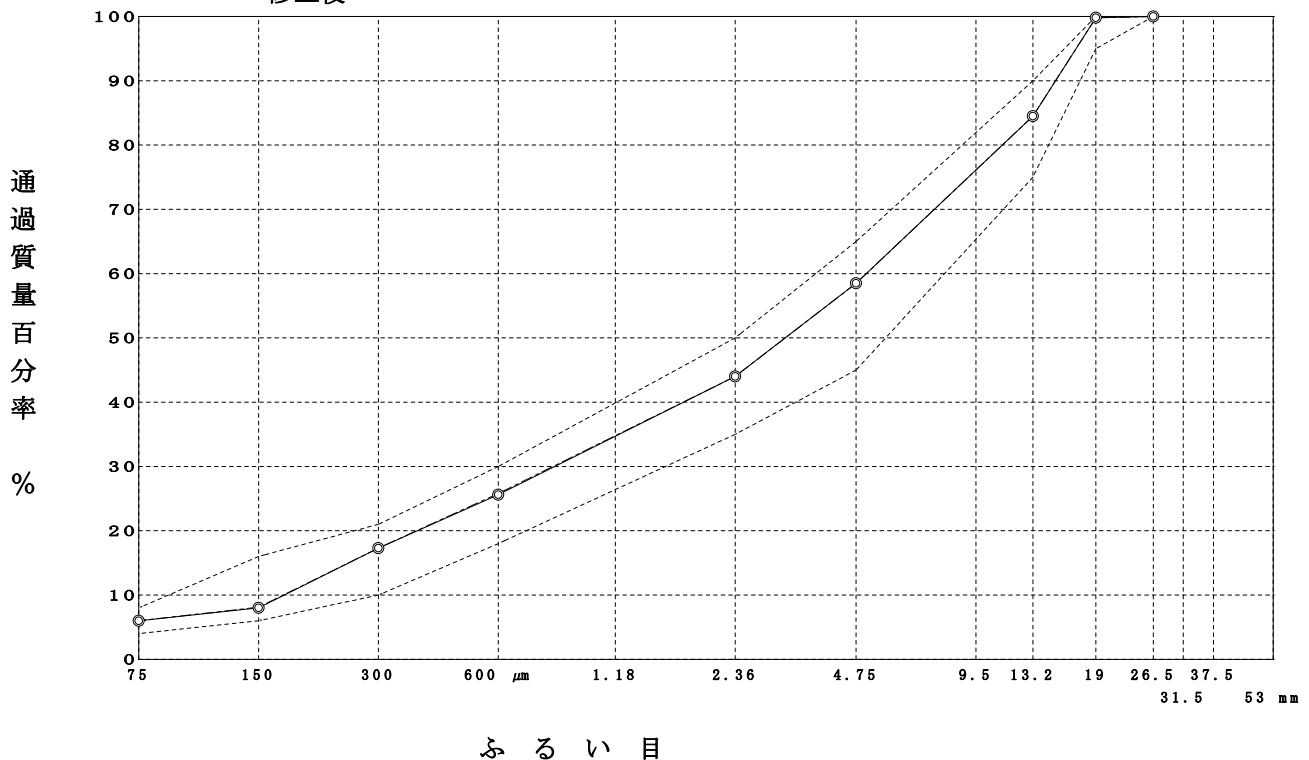
試験者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5	100.0	100.0	100.0	100
19	99.8	99.8	99.8	95 ~ 100
13.2	84.2	84.5	84.5	75 ~ 90
9.5				
4.75	57.6	58.5	58.5	45 ~ 65
2.36	41.1	44.0	44.0	35 ~ 50
1.18				
600 μm	25.4	25.6	25.8	18 ~ 30
300	18.7	17.3	17.3	10 ~ 21
150	10.7	8.0	8.1	6 ~ 16
75	8.5	6.0	6.0	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図

..... 粒度範囲
 - - - - - 目標粒度
 ———— 修正後



理論最大密度計算表

目的配合設計

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

骨材の種類	A 骨材のみ	B(旧アスファルト含む)
砕石5号	17.8	17.80
砕石6号	16.2	16.20
再生骨材	30.2	31.78
砕石7号	6.6	6.60
砕砂	12.1	12.10
粗砂	8.0	8.00
細砂	6.8	6.80
石粉	2.3	2.30
計	100.0	101.58
設計針入度 1/10mm		47
旧アスファルト量 (外割%)		1.58
新アスファルト量 (外割%)		4.35
再生アスファルト量 (%)	5.6	
再生アスファルト量 (外割%)	5.93	
旧アスファルト量 (外割%)	1.58	
新アスファルト量 (外割%)	4.35	
旧アスファルト/新アスファルト 比	27/73	

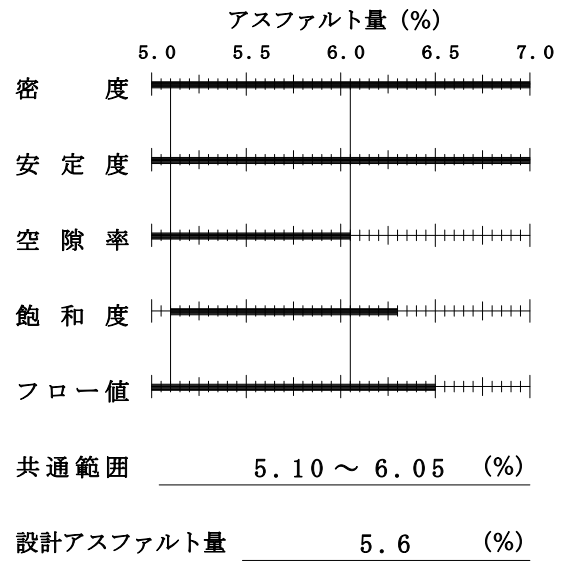
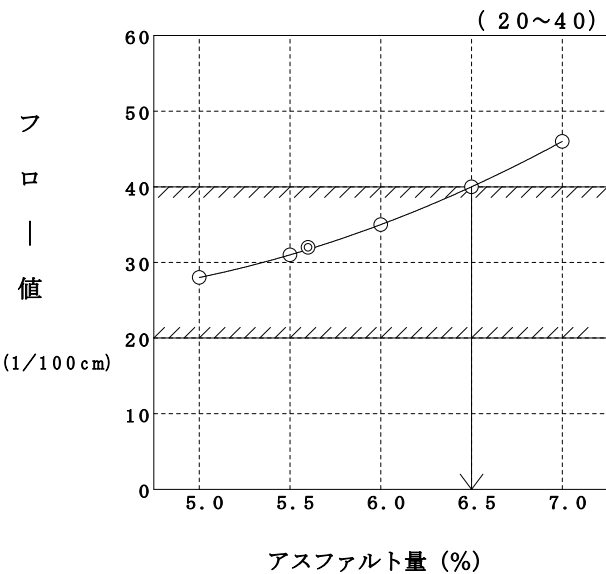
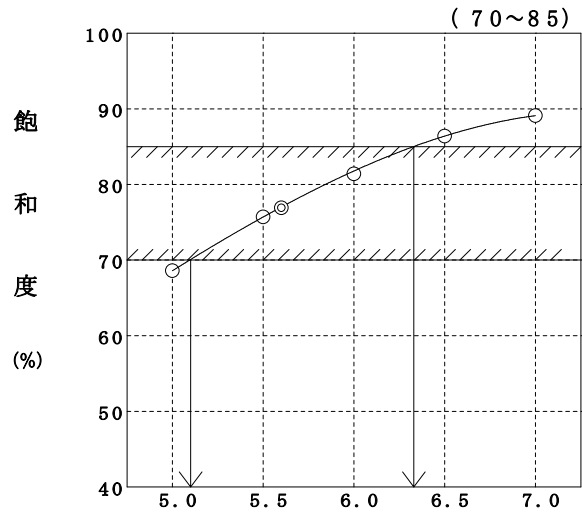
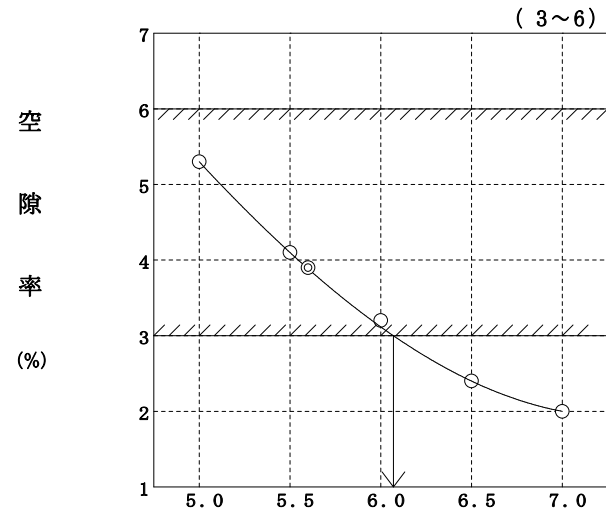
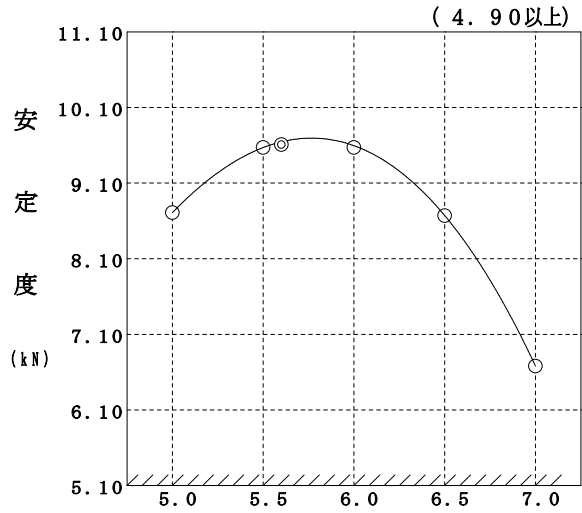
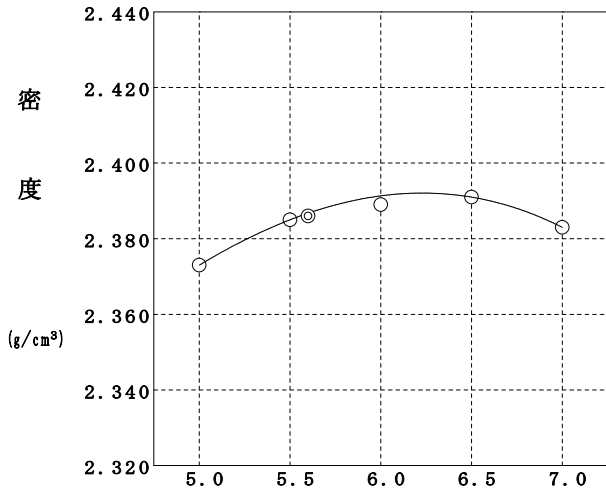
マーシャル安定度試験

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫



現場配合の決定

目的配合設計

試験年月日 2024年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

1バッチ 1000 kg

		骨材配合比(%)	外割配合比(%)	内割配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
1	ビ	24.1	24.10	22.74	227	227
2	ビ	10.4	10.40	9.82	98	325
3	ビ	14.3	14.30	13.50	135	460
4	ビ	17.7	17.70	16.71	167	627
回	収	0.6	0.60	0.57	6	6
石	粉	2.7	2.70	2.55	26	26
再	生	30.2	31.78	30.00	300	300
旧	ア		(1.58)	(1.49)		
新	ア		4.35	4.11	41	41
合	計	100.0	105.93	100.00	1000	1000

- (1) 混合温度・・・・・・・・・・ アスファルト製造業者の掲示する範囲 170 ℃ ~ 185 ℃ の中から選び混合温度(指定温度)を 180 ℃とする。

- (2) 再生骨材加熱温度・・・・・・・・・・ 加熱温度による旧アスファルトの劣化を防ぐ目的により 140 ℃とする。

- (3) 骨材加熱温度・・・・・・・・・・ 混合温度より 40 ℃高くして 220 ℃とする。

- (4) アスファルト加熱温度・・・・・・・・・・ 混合温度と同じ 180 ℃とする。

- (5) 初期転圧温度・・・・・・・・・・ 転圧温度は、アスファルト製造業者の掲示する条件の範囲より選び 150 ± 10 ℃とする。

ホイールトラッキング試験

調査名・目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月19日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 海老原 大輔

走行方式 クランク式 タイヤゴム硬度 78±2

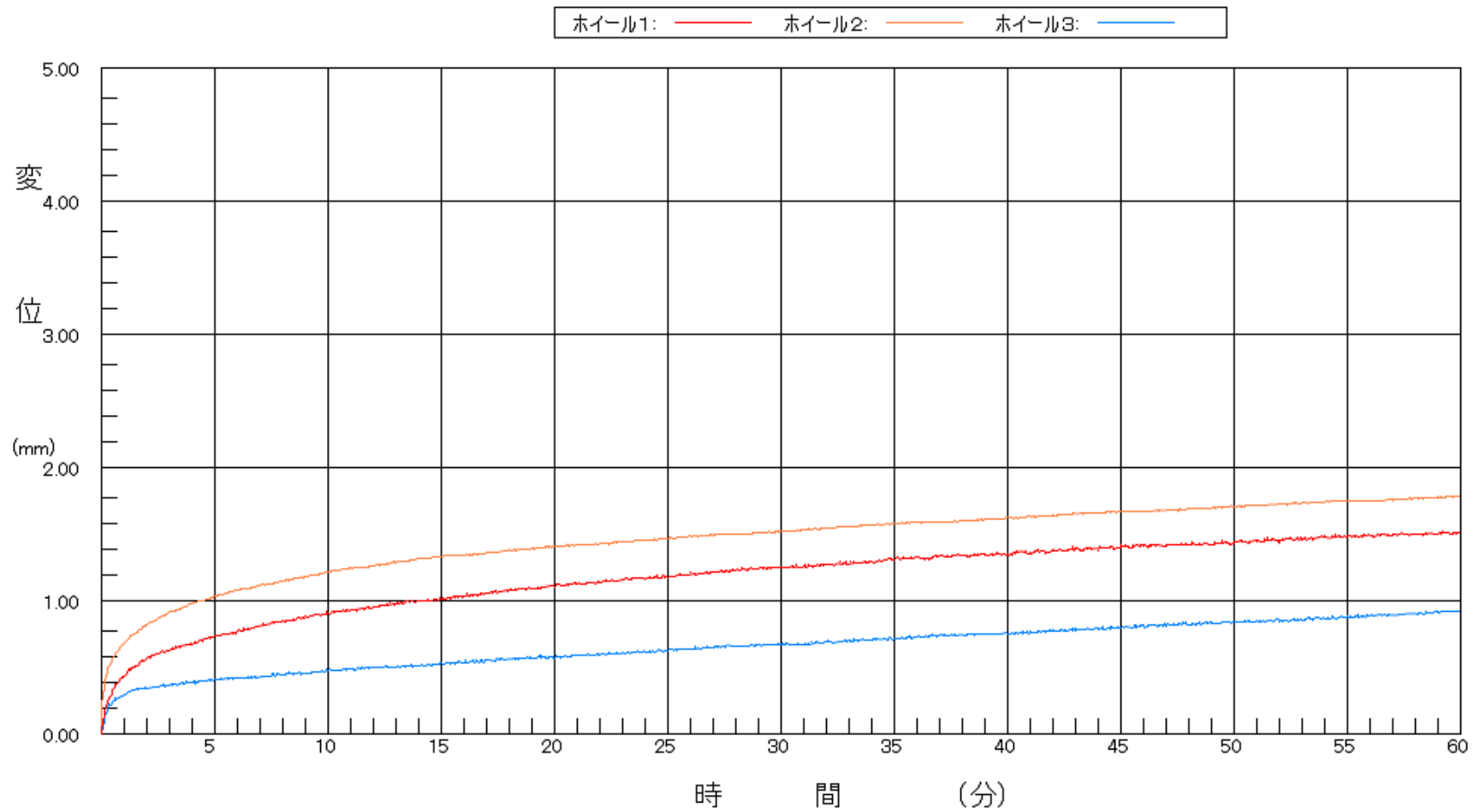
載荷荷重 70kgf(接地圧 6.4kgf/cm²) 載荷方法 垂直

供試体の種類 室内作製 室内養生 12時間

供試体の寸法 長さ300 幅300 厚さ50 (mm) 走行回数 (A) 42 回/分

試験温度 60℃ 養生時間 6時間 試験時間 60分 基準密度 (B) 2.387 g/cm³

供試体番号			①	②	③	平均
供試体作製	①供試体質量 (g)		10636	10642	10629	
	②水中質量 (g)		6190	6198	6184	
	③表乾質量 (g)		10650	10657	10635	
	④供試体体積 (cm ³) (③-②) × 1		4460	4459	4451	
	⑤供試体密度 (g/cm ³) ①/④		2.385	2.387	2.388	2.387
	⑥締固め度 (%) ⑥/(B) × 100		99.9	100.0	100.0	100.0
ホイールトラッキング試験	走行時間 (分)	変形量 (mm)	⑦ d 0			
			⑧ d 5	0.72	1.02	0.39
			⑨ d 10	0.89	1.21	0.47
			⑩ d 15	1.02	1.32	0.52
			⑪ d 30	1.25	1.52	0.67
			⑫ d 45	1.39	1.66	0.79
			⑬ d 60	1.51	1.78	0.91
	⑭圧密変形量 (mm) ⑭×4-⑮×3		1.03	1.30	0.43	⑮ 0.92
⑯動的安定度 (回/mm) $\frac{(A) \times 15}{⑬-⑫}$		X 1	X 2	X 3	⑰ = $\frac{(A) \times 15}{⑬-⑫}$ の平均	
⑱平均値との差の平方 (⑰ - X _i) ²		0	0	0	0	
⑲標準偏差 $s = \sqrt{\frac{\sum ⑱}{n-1}}$			変動係数 (%) $c_v = ⑲/⑰ \times 100$			
時間-変形量曲線の形状			1 上凸型	2 直線型	3 変曲型	



	1分	5分	10分	15分	20分	25分	30分	35分	40分	45分	50分	55分	60分
ホイール1	0.43	0.72	0.89	1.02	1.11	1.18	1.25	1.30	1.34	1.39	1.43	1.47	1.51
ホイール2	0.67	1.02	1.21	1.32	1.40	1.46	1.52	1.57	1.62	1.66	1.70	1.74	1.78
ホイール3	0.29	0.39	0.47	0.52	0.57	0.62	0.67	0.70	0.76	0.79	0.83	0.87	0.91

圧密変形量	動的安定度
1.03	5250
1.30	5250
0.43	5250